

国道 49 号 好間三和地区防災技術検討会の概要

1) 日 時：令和 6 年 3 月 14 日（木） 11 時 00 分～12 時 00 分

2) 場 所：磐城国道事務所 第一会議室

3) 出席者（委員、◎は委員長）

福迫 昌之 東日本国際大学 経済経営学部 教授・副学長

三浦 拓也 福島工業高等専門学校 都市システム工学科 助教

◎緑川 猛彦 福島工業高等専門学校 都市システム工学科 教授・副校長

原田 洋平 国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所長



4) 議 事

(1) 国道 49 号好間三和地区の現状と課題

(2) 対応方針案

5) 審議結果

○国道 49 号の課題を解消し、安定的な道路交通を確保するためには、別線バイパスルートによる整備が妥当である。

○検討した別線バイパスルートは、土砂災害等のリスク箇所や急カーブ等の箇所を盛土やトンネル等の構造により回避しており、安全性が確保されているため、ルート・道路構造は妥当である。

6) 議事内容

○好間三和地区の国道 49 号はいわき～郡山間を結ぶ重要物流道路であり、東北地方の事前通行規制区間の中では交通量が 1 位と通行止め時には影響が大きい重要な路線であることを確認した。

○好間三和地区の課題を以下の通り確認した。

・事前通行規制区間であり、土砂災害等のリスク箇所が集中し、大雨等の異常気象時には通行止めが発生。

・勾配区間が続き、急カーブ等の箇所において重大な交通事故が発生。

・大雨時の異常気象時にいわき市から内陸方面への物流ルートが遮断。

○土砂災害等のリスク箇所や急カーブ箇所を解消するためには、抜本的な対策が必要であることを確認した。

○抜本対策は、土砂災害等のリスク箇所や急カーブ等の箇所を回避した、盛土やトンネル等による延長 3.9km の別線バイパスルートが妥当である。